



## 幼年就学期部会

ファンリテーター 坂本ひとみ(神戸医療福祉大学)  
◎…部会長 ○副部会長

部員	1	中脇正人 ◎	野市小学校放課後子ども教室 指導者
	2	武田了子 ○	夜須幼稚園長
	3	前田真衣	香南市社会福祉協議会
	4	竹倉美智	主任児童委員
	5	中元啓恵	教育委員
	6	武田和也	香南市PTA連絡協議会長
	7	山崎和佳子	香我美おれんじ保育所保護者
	8	山下英雄	城山高校校長
	9	藤川尚司	香我美小学校校長
	10	石井真里奈	子育てサークル まざあくうす代表者

## 令和元年テーマ

### こどもと親の居場所づくり

- こどもたちが安心できる「居場所」づくり
- 困ってる親や、問題を抱えている子どもたちの「マイノリティ」に対する居場所の提供

### 部会開催日程と主な議題

第1回	5.20(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの決定</li> <li>・各事業の取り組み精査</li> <li>・H30年度の取り組み実績について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園援助費支給事業</li> <li>・総合子育て支援センター</li> <li>・魅力ある学校づくり</li> </ul>
第2回	8.23(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回人生支援策定委員会が出された意見と第1回部会での意見を深掘りして協議</li> <li>・保育料の無償化について、部会で協議</li> </ul>	
第3回	11.18(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月末KPI進捗状況から意見集約</li> <li>・第1回、第2回の部会意見とりまとめ</li> <li>・次年度へ協議持ち越し事項のとりまとめ</li> </ul>	

## 幼年就学期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

### 今年の新施策

#### ダイレクトに市政情報を発信

- LINEを活用した情報発信  
7月1日より運用開始。  
登録数：12月23日現在886件
- 担当…地域支援課

#### 【R1の取り組み】

市広報、市HP、香南ケーブルテレビでの周知の他、各学校・幼稚園・保育園・子育て支援センター等でPRチラシを配布して周知。

#### 【R2の取り組み】

- 利用者を増やす今後の対策として、LINEの「QRコード」を読み取れる機会を増やします。
- ・手に取りやすいカード(名刺)型等のPRグッズを作成
- ・成人式や入学式、お祭りなどの各種イベント会場でPRグッズを職員自らが手渡しするなどして周知方法を強化していく

### R2年度新施策や拡充事業(案)

- 拡充 こうなんファミリーサポートセンター【こども課】  
令和2年4月よりのいちふれあいセンター内の「にこにこルーム」や総合子育て支援センター「にこなん」で利用できるように準備を進める。
- 拡充 不登校と引きこもり児童の支援【学校教育課】  
香我美中学校区で実施した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を香南市全域で実施し、不登校生徒の減少に繋げる。
- 拡充 放課後児童クラブ施設整備事業【こども課】  
野市小学校及び香我美小学校で発生している待機児童の解消を図るために、新たな施設整備を行う(令和3年度運用開始予定)

### 今年の新施策

#### 子育て世代を応援

- 満3歳以上の就園児に係る副食費補助金  
令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化に伴い、満3歳以上の就園児に係る副食費(給食費)に対して補助を行う。

- ・対象者…市内に住所を有し、市内の公立以外の認定こども園、保育所及び幼稚園に在園する満3歳以上の児童の保護者。
- ・補助の範囲…施設に支払うべき副食費
- ・補助限度額…月額4,500円
- ※市内に住所を有し、市内の「公立保育所及び幼稚園」に在園する満3歳以上の副食費は、手続不要で無償となる。

## 今後の部会で協議が必要な事項

### 保育の受入体制

- ・令和元年10月からの無償化に伴い保育士不足が予想される
- ⇒母親が働きやすい環境になることで保育所や幼稚園で預ける幼児が増えることが予想され、保育士不足が深刻な問題。

### 外国人との対話

- ・外国人移住者とのコミュニケーションが必要  
日本語が通じない場合に制度説明や、聞き取りなどうまくできる仕組みがないか?
- ⇒香南市内での外国人受け入れ実態を一定明確化すること。
- ⇒全庁で対応可能なALT、CIRを導入検討をする必要があるのではないか。

### 公園が少ない

- ・みんなが一緒に遊ぶような公園が野市にない
- ・体操をするぐらいの小さな公園はある
- ・県外の公園では、外国人が多く見られ言葉が通じなくても子どもたちは一緒に遊んでいた。外国人親子のコミュニケーション場に!
- ⇒香南市内の公園の状況。管理の状態や地区管理の公園の数と場所は。公園マップ的なものを作成して周知すれば利用者も多くなる。

### 朝食の摂取割合3歳児

- ・3歳児がなぜ朝食を摂っていないのか分析し施策につなげる必要がある
- ⇒最近調理のできない親が増えてきており調理の機会や経験が少ない。また、仕事で朝が早く朝食を作る間がないなど、朝の時間に余裕がないライフスタイルになっている。

## 資料 3-1

#### ■こども課

保育士不足は無償化の前からの課題となっており、これまでもパートタイム職員を雇うなどして対応している。今後も保育士の確保に努める。

#### ■部会事務局

- ・高知県国際交流協会が主体となる日本語教室を市内で開催できないか関係課で協議し、R2年度からの実施を目指す。
- 総務課
- ・新庁舎建設に併せて窓口対応として課に設置するタブレットに英語、中国語、韓国語の双方向の翻訳アプリ、聴覚障害者向け単方向の日本語専用の通訳アプリ、を導入する。

#### ■部会事務局

公園マップの作成及び、新たな公園の必要性について、建設課と協議する。

#### ■健康対策課

親になってからでは遅いので、親になる前からの指導として、パパママ教室の中身を検討する



▲子育て支援センターで周知したPRチラシ



## 成年熟年期部会

ファシリテーター 村上和子(高知工科大学)  
◎…部会長 ○副部会長

1	川田 勲 ◎	香南市スポーツ振興協議会副委員長
2	百田久範 ○	青少年育成香南市民会議副会長
3	大野英明	山北地区まちづくり協議会長
4	村井洋子	吉川町まちづくり協議会事務局長
5	尾崎俊夫	社会教育委員
6	山中節子	香南市図書館協議会副会長
7	白石令子	香南市社会福祉協議会 事務局長
8	大庭静子	食生活改善推進協議会
9	中元二三四	健康推進員協議会吉川支部
10	西内慶明	スポーツクラブ事務局

## 令和元年テーマ 健康で楽しく、地域で暮らす

- 健康でないと人生を支援しても楽しい人生にならない
- 心身ともに健康に生きていくにはどうしたらよいか
- 健康でコミュニケーションを図ることができ、人間関係がうまくいくことによって幸せな人生を送ることができるように！

### 部会開催日程と主な議題

第1回 5.30(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの決定</li> <li>・各事業の取り組み精査</li> <li>・H30年度の取り組み実績について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科検診</li> <li>・公共交通機関について</li> </ul>
第2回 8.22(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに対する意見集約</li> </ul>	
第3回 11.20(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月末KPI進捗状況から意見集約</li> <li>・第1回、第2回の部会意見とりまとめ</li> <li>・テーマに対する絞り込みと深掘り</li> </ul>	

## 成年熟年期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

### 今年の新施策

#### 不妊治療費の経済的負担の軽減を

- 特定不妊治療の一部助成(12月現在)  
申請済：10人  
申請中：1人  
検討中：3人

■担当…健康対策課

#### 【R1の取り組み】

健康対策課の窓口での紹介や市HP、広報での周知の他、県申請に併せて市の助成を紹介。

#### 【R2の取り組み】

来年度に向けては、市窓口で転入届けを出された方へ周知チラシを配布する予定

- 香南市不妊治療費助成事業…不妊に悩む夫婦に対し、保険適用外の体外受精や顕微授精に要する費用の一部を補助することで、経済的な負担の軽減を図ります。

- 対象者…一般不妊治療費助成事業の要件をすべて満たし、かつ「高知県不妊に悩む方への特定治療支援事業」の助成を受けている方

県の助成の問い合わせ先…  
県中央東福祉保健所 ☎53-3172

- 助成額…治療に要した費用から、県事業の助成(1回あたり20万円上限)を受けた額を控除した額について1回あたり10万円を上限

- 助成回数…通算6回

## R2年度新施策や拡充事業(案)

### ■拡充 健康増進に向けた取り組み

- ・ウォーキング【生涯学習課】

秋に実施している安芸市、芸西村と連携したツデーウォークの市民参加料の見直しなどを検討し、市民参加者を増やす。

### ■新規 地域コミュニティの維持確立【地域支援課】

- ・集落活動センターの立ち上げ(集落活動センター推進事業費補助金)

R2年5月センター開設予定の岸本地区が取り組んでいる活動(旧岸本小学校の拠点施設としての活用方針や、空き家・空き地対策、高齢者や子どもの居場所づくりなど)を支援する。

### ■拡充 健診受診率向上に向けた取り組み【健康対策課】

- ・受診率の低い40代50代が受診しやすい休日健診の日数を増加する
- ・未受診者訪問により、未受診理由の把握を行う

## 今後の部会で協議が必要な事項

### テーマの具体化

- ・テーマの絞り込み及び深掘りに関しては、意見集約をするまでの話にならなかった。
- ⇒「健康＝ウォーキング＝誰でも行いやすい」の共通認識のもと現行施策の拡充について協議していく。

### まちづくり 地域で暮らす

- ・コミュニティについて
- ⇒地域コミュニティを充実させ暮らしやすい環境へ
- ⇒世代間のつながりをつないでいくのは地域

### 人権啓発

- ・アスペルガーなど障害への理解が進んでいない
- ・障害や特性に応じた配慮の仕方等の啓発が必要
- ⇒人権教育に関しては、人権課と生涯学習課で啓発や研修を行い今後も取り組んでいく

### 高齢期への備え

- ・高齢になる前の学習
- ⇒公共交通機関利用や詐欺対策、食事や運動の講習の開催を充実する必要がある
- ・市営バス
- ⇒市民自らの利用が増加するような施策を検討すること。

## R2年度新施策や拡充事業(案)

### ■新規 サイクリングで健康増進につながる取り組み【商工水産課】

- ・「香南市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりへ
- ・サイクリストにやさしいまちへ【健康づくり(市民向け)】

市施設・市内事業所にサイクルラックを導入。自動車が自転車を追い越す際に安全な間隔を取って走る「思いやりステッカー」を作成配布する。

- ・利用者(自転車通勤者)増につなぐ【健康づくり(市民向け)】

市内事業所への通勤手段として自転車を活用してもらう。(サイクルラック・駐輪場整備補助等を企画立案しサポート)

- ・新しいサイクルイベントの開催【観光(サイクリストの誘致)】

NPO法人 Maze-Cle が中心となり、三宝山を自転車で駆け上がるイベントを開催

### ■新規 空き店舗の掘り起こし【商工水産課】

市内で活用できる空き店舗を掘り起こし、起業や継業支援に繋げる

# 資料 3-2

- 部会事務局  
次回、ウォーキングに関して市の事業内容を確認し、改善できる場所があれば対応していく。

- 地域支援課  
地域コミュニティの充実のため、市全域でまちづくり協議会・自治会を設立し、住民同士が『顔と顔が見えるつきあい』を目指す。協議会や自治会に向けた支援策としては、まちづくり活動への「地域活性化総合補助金」の交付や、地域課題をテーマにした「まちづくりセミナー」の開催、市職員が講師となって地域へ出向く「出前講座」を実施している。今後も、地域住民と一緒に考え協働のまちづくりを進めて行く。

- 人権課  
障害者の理解を進めていくためには、まず、職員が正しく理解する必要があると考えます。市職員研修については、全職員対象に毎年行う人権研修のなかで人権課題の一つとして取りあげている。  
また、市民の皆様には、わかりやすい内容の広報や、市が行う人権啓発事業のなかで障害の理解や平成28年に施行された「障害者差別解消推進法」に基づいた合理的配慮などについて啓発を行い、障害者が地域で安心して暮らせるよう取り組んでいる。

- 部会事務局  
移動手段やごみ問題など高齢期部会へ引継ぐが、高齢になる前にできる対策としてこの部会での検討も深めていく。

関連事業として  
香南市産業振興計画の  
取り組みを一部紹介



## 高齢期部会

ファシリテーター 都築五明(高知工科大学)

◎…部会長 ○副部会長

部員	1	小松健一 ◎	香南市社会福祉協議会 会長
	2	福井清仁 ○	民生児童委員会 代表
	3	島崎義幸	高齢者クラブ 代表
	4	大谷修二	第1号被保険者代表
	5	矢野由美子	第2号被保険者代表
	6	岡本八重子	サービス利用者家族代表
	7	福永康夫	夜須町民生児童委員協議会
	8	安岡喜久一	香我美町まちづくり評議会議長
	9	近森孝章	シルバー人材センター
	10	濱崎 勲	香美人権擁護委員協議会

## 令和元年テーマ

### 高齢者の生活支援

- ごみ出しや資源ごみの分別等、ひとり暮らし・虚弱等で掃除や片づけに支障をきたしている高齢者もいる。食事だけでなく「生活支援」として日常の課題を考える
- まず「掃除・ごみ出し」をテーマに考える。食生活については、移動・外出支援を考える「受け皿づくり」の中で検討していく

#### 部会開催日程と主な議題

第1回	・テーマの決定 ・各事業の取り組み精査 ・H30年度の取り組み実績について	・移動・外出支援の受け皿づくり(送迎ボランティア養成講座) ・リフレッシュ移動サロン ・公共交通機関について
5.17(金)		
第2回	・高齢者の移動・外出支援の受け皿づくり(経過報告) ・「掃除・ごみ出し」に関する高齢者の生活状況についての意見交換【現状のサービス内容について説明】	
7.31(水)		
第3回	・移動支援に係る新規事業・対象者拡大事業の成果報告 ・「高齢者の生活実態と支援をしていて感じること」について実践者と意見交換	
11.19(火)		
第4回	・人生支援計画に基づく評価と取り組みの報告 ・来年度からの新規・拡充事業についての検討結果の報告 ・来年度のテーマについて	
1.20(月)		

## 高齢期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

### 今年の新施策

#### 要介護1の方もサービス対象者に

- 医療機関送迎サービスの対象者拡大  
申請数：12月現在 8件
- 担当…高齢者介護課

【R1の取り組み】  
窓口での情報提供やケアマネージャーなど事業関係者への周知活動を実施

【R2の取り組み】  
現状を調査したうえで拡大について検討していく。



- 現在、要介護2～5の方を対象としている、医療機関送迎サービスの対象者に、公共交通機関を自立して利用することが困難な要介護1の方も加えます。

- 対象者…要介護1～5(家族による送迎や公共交通機関の利用が困難な方)

障害者(市民税非課税の在宅者)

- 利用回数…月1回

- 助成額…香南市内:全額 高知市:5,000円  
香美市・南国市・安芸市:3,000円



### 今年の新施策

#### 住民主体の移動支援の創出を支援

- 移動・外出支援の受け皿づくり  
受講者数：12月現在 1回 27人
- 担当…高齢者介護課



- 住民主体でのマイカー、法人車両を活用したやさしい見守り付きの福祉送迎サービスの創出を図ります。地域のニーズと資源に合った移動・外出支援の創出に向けた研修会を開催します。

## 今後の部会で協議が必要な事項

### 医療機関送迎サービス事業

- ・要支援1・2への支援対象者の拡充ができないか？

⇒タクシーや介護タクシーの利用の助成を行う制度だが、要支援1・2であれば、自身で移動ができる方もおられ、市バスや病院送迎バスなどの交通手段で移動し受診ができると考えられるため、次年度での拡大は見送った。要支援認定者で介護サービスを利用している方の医療機関への移動手段について現状を調査したうえで拡大について検討していく。

### 関連事業紹介

#### 高齢者のお出かけを支援します

- リフレッシュ移動サロン 12月まで 166人  
登録者数：12月現在 166人  
(4月から12月までの延べ参加者2,581人)
- 担当…香南市社会福祉協議会

29年度	
赤岡地区	週1回
香我美地区	月3回
吉川地区	週1回
夜須地区	月2回
野市地区	月3回
登録者数	137人
延参加者	3,358人
30年度	
登録者数	147人
延参加者	3,397人



- 地域ごとにドアToドアでお買い物を支援する事業で、対象は70才以上の高齢者。(諸要件あり)

地域での利用回数を増やしてきた。次年度からも、利用者の要望により回数など検討する。

- ・高齢者の生活支援についての事業をもっと広く広報してほしい

⇒広報については、市の広報誌や社協だよりに掲載して周知を図っている。基本的には地域包括支援センターの総合相談員や社会福祉協議会の地域支援員を通じてサービスの紹介をしてもらっている。また、ほかにも民生委員協議会など高齢者に関わる会に出向いても説明をしている。これからも効果的に生活支援につながるように、社会福祉協議会など関係機関と連携して必要な方にサービスを紹介して、特に中山間地域など地域の特色も考慮しながら、より広くさまざまな機会に広報していく。パンフレットについては、既存のものがあるので、それを活用する。

### 広報

- 高齢者介護課  
今回の会では、現在行っている周知方法を報告して、あらためて、周知の対象や方法について、意見を聞く予定。

### 掃除ごみ出し支援

- ・高齢者の「掃除・ごみ出し」に関して、在宅での生活継続のために必要な事項を協議していく

⇒地域支援事業での生活支援体制整備事業(社会福祉協議会に委託)において、「のいち座談会」が、ゴミ出しで特に地域で高齢者のプラスチックゴミの分別について十分理解できていない状況が見られるため、分別の必要性を伝えるため、高知プラスチック再生センター(仁井田)に視察に行き研修している。こうした取り組みが、さらに広がって高齢者の在宅での生活継続のために住民互助の意識が広がっていくように働きかけをしていきたいと考えている。

#### 対応例

- 社協等のサービス利用時の登録

⇒手続きの時間短縮

⇒県外家族のサービス情報や手続きの手助け支援

- ごみステーション回収の時間ルール

⇒8時までに出すルールの再考。ヘルパーの業務時間の兼ね合い。

⇒公助・共助の検討が必要

- サービスを利用しているのに、ごみ出しの問題が解決しない。

⇒どこに問題があるのか。課題の調査が必要

- 環境対策課  
ごみステーション回収時間や回収場所を家の前に変更することは、現時点ではできない。地域の協力体制など今後どのような支援策があるか関係課と協議し、部会へ報告する。

- 部会事務局  
高齢者の「掃除、ごみ出し」の問題については、生活援助を行うシルバー人材センターの会員が十分ではない状況もあり、サービス拡大を検討する場合にはどうしても会員確保を確実に行う必要がある。このため、会員確保につながる取り組みとして市の広報誌でシルバー人材センターの特集を行い、どのような団体なのか理解を深めていく。